

# 【教育委員会と議員の意見交換会 報告書】

## 担当：総務文教常任委員会

- ・開催日時：令和4年11月1日（火） 午後1時30分～午後3時
- ・場 所： 役場北館3階大会議室
- ・参加者： 岸野教育長 教育委員会職員 各小中学校長
- ・担当議員：文野 慎治（委員長 開会挨拶）大林 隆昭（副委員長 閉会の挨拶）  
浦川 佳浩（記録）河合 弘樹（記録）矢野 正憲（撮影）  
江川 慶子（撮影）二見 裕子（進行）

### ～質疑応答・意見交換における主な発言～

（質問）クロームブックの今後の活用について

（回答）熊中 現状は授業で使用、集会を各教室で行っている。夏休みに持ち帰り家庭で活用。各教科で宿題を出す。3年生は体育大会時にダンス動画で練習。

他校の取組を参考にしている。カメラ動画の活用（体育祭での受付で）

北中 毎日持ち帰っている。三本柱で、慣れ親しむ・週1回タイピング練習・情報活用の具体化。長期欠席者の対応。プライベートとパブリックの区別。

南中 音楽、美術での活用、調査活動、家庭学習、プレゼンや意見交換、クラブ活動など広範囲で活用している。海外の日本人学校との交流も考えている。

中央小 ジャムボードでアップ活用。学級閉鎖時の体調管理。アンケート調査。  
先生のスキルアップを高めていく。家庭への持ち帰りを調整する。学校と家庭でサポート（保護者の理解）。学校日より、クラス日よりをタブレットへ。読書の履歴など。

西小 リモート授業の取り組み。学年閉鎖時に学年全体でクラス対抗の英語でのゲームを行う授業をした。ジャムボードを使用している。マナーを指導していく。

南小 先生の能力差によって変わる。ジャムボード使用。雨の日は休憩時間に使用OKしている。SNSの使用について保護者にも指導している。1年生は音声入力、QRコード、植物の観察などを学び、3年生は調べ学習をしている。卒業式をコロナで欠席者も映像参加。

北小 1年生から積極的に使用している。家庭学習での活用方法を課題としている。教員が長けている。TM校・確かな学びを育む。学校図書館を活用し教科横断した使いこなせる人間になって欲しい。取捨選択能力。支援学級では自然に使っている。

東小 リモートの会議に入っていく力が必要。会うことの大切さ。子供は素直に、伸びた子供が増えている。この力を違う所に変えていく。

先生の授業力差。スキルアップが課題。成長のチャンスと捉える。

(質問) 持ち帰りは小学校 5、6 年生の長期休みだけなのか？

(回答) 多岐にわたって使用を考えている。冬休みあたりに、アンケートかドリル的な事を考えている。現在も休みの児童には届けている。

(質問) 貸し出し Wi-Fi ルーターの状況は？

(回答) 200 台ある。全ては使ってはいない。

(質問) 健康面で視力低下は？

(回答) クロームブックよりはスマートフォンが問題。

(質問) 一斉に繋げると問題は？

(回答) 特にない。キャストは時々ある。

(質問) 登下校時の送り向かいの車についての問題は？

(回答) 困っている。お便りで周知している。

(質問) 職業体験の状況は？

(回答) 講師を招いて行う。キッズニア体験に行く。

(意見) リモートによる職業紹介みたいな事をやって欲しい。